

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期沼田町総合戦略推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道雨竜郡沼田町

### 3 地域再生計画の区域

北海道雨竜郡沼田町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1955年の19,362人をピークに一貫して減少しており、3,181人（2015年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。

総世帯数も同様に減少傾向にあり、2015年（平成27年）は1,333世帯で、1975年（昭和50年）の約7割となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると2040年には2015年比で総人口が約46%となる見込みである。

人口減少は今後も続くとみられており、今後の人口の将来展望では、出生率が上昇し、かつ社会増減が均衡しても2040年（令和22年）の総人口は2,264人に減少すると推計している。

総人口の推移に影響を与える自然増減については、1989年（平成元年）以降、出生数が死亡数を下回る自然減に転じた中であって、2008年（平成20年）～2012年（平成24年）の5年平均の合計特殊出生率では、前回の1.22から1.32へ回復傾向にあり、一定の子育て対策の効果は見られるが、依然として全国水準を下回っており、課題となっている。また、1994年（平成5年）以降の人口移動の調査結果から、1999年（平成10年）、2001年（平成12年）年を除き死亡数が出生数を20人以上上回る自然減となっており、今後出生数が増えたとしても自然増に転じることは難しい状況にある。

人口の社会増減は、2017年（平成29年）12名増、2018年（平成30年）18名増と2年連続のプラスに転じているが、2019年（令和元年）においては社会減が予想

される。雇用の機会が減少したことで、若者が町外へ流出したことなどが原因と考えられる。

これにより、基幹産業である農業においては、農家人口の減少や農業従事者の高齢化が進む中で、担い手不足が深刻化しているなど、地場産業の衰退による地域経済の低迷が懸念される。

これらの課題を解決するため、以下の事項を本計画の基本目標に掲げ、子育て環境の充実、高齢者が活躍できる場を創出し自然増につなげるとともに、雇用の場を創出し持続可能なまちづくりを目指す。

- ・基本目標 1 持続可能なコンパクトエコタウンを目指す
- ・基本目標 2 ひとが集い、つながりを大切にするまちづくりを目指す
- ・基本目標 3 子どもたちが誇りをもてるふるさとづくりを目指す
- ・基本目標 4 人生 100 年時代を安心して暮らせるまちづくりを目指す

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時 点)	目標値 (R6年度)	達成に寄与する地 方版総合戦略の基 本目標
ア	従業者数 (単年度)	1,490人	1,600人	基本目標 1
イ	社会増減数 (単年度)	▲25人	+25人	基本目標 2
ウ	出生者数 (単年度)	16.4人※	20人	基本目標 3
エ	特定検診受診率	56.2%	65.0%	基本目標 4
	要介護認定者数	166人	150人	

※ H27-R1 の平均値

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す事業

ア 持続可能なコンパクトエコタウンを目指す事業

イ ひとが集い、つながりを大切にするまちづくりを目指す事業

ウ 子どもたちが誇りをもてるふるさとづくりを目指す事業

エ 人生100年時代を安心して暮らせるまちづくりを目指す事業

② 事業の内容

ア 持続可能なコンパクトエコタウンを目指す事業

平成25年度より継続して住民と共に進めている沼田町コンパクトタウン構想を中心に、市街地の歩いて暮らせるコンパクトなエリアに、小さな拠点施設や高齢者及び若い世代の住まいなど集約し、子どもから大人まで集えるコミュニティの場を創出し、雪国の課題を解決するコンパクトタウンの実現を目指す。

また、沼田町独自の地方創生を実現するためには、新たな企業の誘致、「暮らし」と「しごと」を結び付け、町の魅力を発信し新たな「ひと」を呼び込めるよう雇用対策を講じていく。

基幹産業である農業においては、農家人口の減少や農業従事者の高齢化が進む中で、農業の持続的発展を図るために、将来を見据えた更なる質の向上や生産性の高い、強い農業への取組みを進める。

町の特産品については、「雪中米」や「トマトジュース」等の更なる販路拡大、新たな商品開発、6次産業化を図り、稼げる地域づくりを進める。

（具体的事業）高齢者住宅建設事業等

※ なお、詳細は第2期沼田町総合戦略のとおり。

イ ひとが集い、つながりを大切にするまちづくりを目指す事業

沼田町には、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他

にはない特色ある資源、また子育てしやすい環境、自然あふれる暮らしやすい環境が充実している。この沼田独自の魅力あるブランド力を高め、町内外に発信し、移住定住につなげていく。また、商工業を中心としたにぎわいのあるまちづくりを産官学連携により展開し、継続した「ひと」のつながりを生み出し、関係人口の拡大を図る。

(具体的事業) 沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業等

※ なお、詳細は第2期沼田町総合戦略のとおり。

#### ウ 子どもたちが誇りをもてるふるさとづくりを目指す事業

将来子どもたちが沼田町に帰ってきてもらう、世界に羽ばたいてもらえるよう様々な生きた経験を体験できるキャリア教育の充実を図り、また元気にのびのびと運動ができるようスポーツ環境の充実を図ることによる本町独自の教育環境づくりを進めていく。

子育て世代においては、更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、妊娠・出産から子どもの成長過程にあわせた切れ目のない支援を行い、誰もが住んでみたい、住んでよかったと安心して子育てできるまちづくりを進めていく。

(具体的事業) 子育て交流広場「えがお」運営事業等

※ なお、詳細は第2期沼田町総合戦略のとおり。

#### エ 人生100年時代を安心して暮らせるまちづくりを目指す事業

沼田町では、コンパクトエコタウン構想のひとつである医療福祉の複合施設である「暮らしの安心センター」を拠点とし、高齢者の在宅医療福祉を推進するとともに、高齢者がいつまでも健康でいきいきと暮らせることができるよう高齢者活躍の場づくりを推進する。

また、高齢者の医療を含む相談支援、生活習慣病や介護予防、健康づくり、子育て支援等、多世代型の地域包括ケアを実現し、誰にとっても生きがいがある、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

(具体的事業) 高齢者活躍の場創出事業等

※ なお、詳細は第2期沼田町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

60,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに沼田町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

○ 地域雇用開発助成金（地域雇用開発コース）（厚生労働省）：【B0908】

沼田町内の雇用創出を図るため、5-2②アに対し地方創生応援税制に係る寄附を行い、事業所の設置・整備、地域求職者の雇入れを行った企業に対して、企業が地域雇用開発助成金（地域雇用開発コース）の支給申請を行うために必要な地方創生応援税制に係る寄附受領証を発行する。

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

## 6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで